

第9回8020童話賞

児童生徒の部「最優秀賞」作品

「ごめんねのじゅんじゅん」

小学 1年生

えりかちゃんは、しょうがつこう一ねんせいです。

えりかちゃんは、まだ二本しか、はがぬけていません。

クラスのおともだちは、八本もはがぬけている子もいます。

だから、はやくぬけてほしいな。とおもっていました

えりかちゃんは、おかあさんにしあげみぎきをしてもらうときに、いつも、

「なんで、わたしだけ、はが二本しかぬけていないのかな。」

つていいいます。

それでも、おかあさんは
「えりかと、ほかのこは、ちがうからいいのよ」

つていいいます。

しあげみぎが終わったら、えりかちゃんは、せんめん所のかみにうつっているはをみて、はがきれいかな。とおもいます。

それから、おとなのはやくごものはや、グラグラのはに、はやくぬけてね。といいます。

えりかちゃんは、せんぶのはと、おはなしをしたいとおもっていました。

「ねえ、えりかちゃん、なんかぼくたちのことよんだっ？」

「うわあわあ、びっくりさせないでよ」いきなりはが、はなしかけてきたから、えりかちゃんは、びっくりして、大きなこえをだしてしまいました。

「あっ、そうそう、うえのまえばさん、はや

くぬけてほしいな」

「どうして、ぬけてほしいの？」

はのみんなが、えりかちゃんにききました。

「クラスみんなは、八本もぬけていて、えりかだけ、二本だっていわれるすから、いやなんだ。だから、ぬけてほしいの。」

えりかちゃんは、ちよっぴりかなしくなってしまうました。

うえのまえばさんはニッコリわらって

「そうなんだ、それなら、えりかちゃんにもつだってほしいことをいうよ。」

まず、はをきれいにみがくこと。かたいものもあきらめずにさいごまでちゃんとかんでたべること。

あともう一つ、すいみん時間をいっぱいとして、元気よくうんどうしたりすること。「と、えりかちゃんにおしえてくれました。」

「うん。わかった。」

そして、げんきなこえで、
「下のまえばさん、はやく大きくなってね。ほかのはさんたちも、いつも、わたしがたべものを、ちいさくかみくだいてくれてありがとう。わたしもたくさんたべておおきくなるね。」

といいました。

えりかちゃんは、もう一つだけ、はさんたちにききたいことがありました。

「はのねっこさん、どうして、はいしゃさんではぬけるときは、ねっこがあるのに、いえではポロッとぬけるときは、ねっこがないの？」

はのねっこさんは、すこしだけかおを出しておしえてくれました。

「ねっこがあるときは、まだ、おとなのはのじゅんびがしっかりできていないのに、はやくぬけちゃったときだよ。」

それで、ねっこがないのは、おとなのはのじゅんびがしっかりできて、はがぬけたときに、ぬけたからなんだよ。」

えりかちゃんは、いまあるはがぬけたとき

に、ずっとまっけていても、おとなのはがはえてこなかったらどうしようとおもって、

「ねっこさん、ちゃんとはえてくるかなっ。」と、そうだんしました。

ねっこさんはニッコリして、

「いまのこどもの下には、ちゃんとおとなのはがあるからだいじょうぶだよ。」

これからもずっとずっとはみがきをきれいにするのをわすれないでね。」

と、いいました。

それから、下のまえばさんが、

「ハ〇さいになっても、はを二〇本のこしてもらいたいんだ。」

えりかちゃんがおばあちゃんになってもずっとほくたちは、いっしょだよ。」

と、うれしそうにいいました。

えりかちゃんのおねは、うれしさをいっぴいで、あたたかくなりました。

「おはなしをしてくれてありがとう」

と、えりかちゃんは、はのみんなにおれいをいいました。

そして、もういちど、はみがきをしたくなりました。

ピカピカになったのは、しろいとうもろこしがいっぱいならんでいるみたいでした。